

中学校・国語

【 話すこと・聞くこと 】

<定着が見られる内容>

- 目的に応じて資料を効果的に活用して話す力は、多くの生徒が身につけている。
- 事実と考えとの関連に注意し、構成を工夫して話すことができる。

<課題が見られる内容>

- ◆語句を選択し、効果的な材料を活用して話すことに課題がある。
- ◆話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことに課題がある。

指導改善のポイント

- ☆インタビュー等、「話す・聞く」の活動を多く取り入れる。
- ☆効果的な話し方について指導するとともに、聞く時には論理の展開に注目して聞くように指導する。

【 書くこと 】

<定着が見られる内容>

- 語句の使い方を考えたり構成を工夫したりして、わかりやすく書くことができる。
- 表現の仕方を工夫し、自分の考えを書くことができる。

<課題が見られる内容>

- ◆助言をもとに自分の文章を見直す力に課題がある。
- ◆目的や意図に応じて自分の意見をまとめる力に課題がある。

指導改善のポイント

- ☆比喩などの表現技法が用いられた文章に、多く触れる機会を作る。
- ☆作文指導では、「誰に」「何を」「何のために」伝えるかを明確にするとともに、その後の推敲も丁寧に行い、言葉への意識を高める指導を行う。

【 読むこと 】

<定着が見られる内容>

- 文章の要旨を捉え、表現の仕方に注目して読むことができ、自分の考えが持てる。
- 登場人物の言動や描写及び表現の仕方を捉え、自分の考えを書くことができる。

○目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。

<課題が見られる内容>

- ◆文章に表れているものの見方や考え方を読み取る。
- ◆場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することに課題がある。

指導改善のポイント

- ☆単なる読解にならないように、何に着目して文章を読むかというねらいを明確にする。
- ☆読後の感想を交換し合い、作者のものの見方や考え方と比較しながら、自己の考えを深める。

【 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 】

<定着が見られる内容>

- 文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりすることができる。また、語句の意味を理解し、適切に使うことができる。
- 書道や古典の基礎的知識が身についている。

<課題が見られる内容>

- ◆話し言葉と書き言葉の適切な使い分けに課題がある。
- ◆適切な敬語を使うことやことわざを正しく理解して使うことに課題がある。

指導改善のポイント

- ☆文章を書く機会を多くするとともに、より多くの語彙の獲得に努める豊かな表現力の涵養を図る。
- ☆様々な表現と出会うためのインタビューや学校図書館を活用する学習形態を積極的に取り入れる。

今後に向けて

- ⇒地域や家庭への読書推進の啓発を積極的に行う。
- ⇒国語の教科のみならず、全教科で計画的かつ段階的に言語活動に取り組む。特に、道徳や総合的な学習の時間などでは、読み物や資料の教材化を図る。また、図書室を調べ学習等の学習活動の場所として積極的に利用する。
- ⇒伝え合う活動として、インタビューなどを取り入れ、社会とつながる実践を目的や目標をもって行う。